

長府臨海工業地帯造成計画について

運輸省中四港湾建設局企画課長 嶋 文 雄

北九州臨海工業地帯は、その工業発展が地価、用水、動力、労働力等の関係から第一次世界大戦を頂点として漸く飽和点に達した為滿洲事變を契機とする新たな発展の要請が用地、用水に恵まれた山口県山陽沿線に重化学工業を勃興せしめた。

本計画はこれら山口県工業の立地要因と工業構造の特質を工業生産、電力、用水、輸送の面から捉え、これらの特質を生かし長府地区に大規模埋立を行つて臨海工業地帯の造成を計画したが、こゝに山口県工業の特質、業種の選定、長府地区の自然条件、埋立法線の決定等についての概要を述べる。